

審議会等の会議結果報告

1. 会議名	令和6年度第2回松阪市文化センター運営委員会
2. 日時	令和6年10月3日(木) 午後7時00分から午後8時00分
3. 場所	農業屋コミュニティ文化センター
4. 出席者名	日時 令和6年10月3日(木) 19:00~20:00 場所 農業屋コミュニティ文化センター 出席者【委員】○森本 小百合、馬場 弘幸、塩谷 明美 牧田 研介、加藤 又義 5名出席 (○副委員長) 【事務局】クラギ文化ホール 甚野館長、小路主幹、久保主任 嬉野ふるさと会館 安保主任 文化課 松葉参事、梶間主幹 6名出席
5. 公開・非公開の別	公開
6. 傍聴者数	無し
担当	松阪市川井町690番地 クラギ文化ホール 担当者 : 館長 甚野 浩一 電話 0598-23-2111 FAX 0598-23-2114 e-mail bunka.kai@city.matsusaka.mie.jp

議題

- (1) 令和6年度自主事業実績について
 - (2) 令和7年度自主事業候補について
- その他

議事録

別紙

令和 6 年度第 2 回松阪市文化センター運営委員会議事録

日 時 令和 6 年 10 月 3 日 (木) 19:00~20:00

場 所 農業屋コミュニティ文化センター

出席者 【委員】 ○森本 小百合、馬場 弘幸、塩谷 明美

牧田 研介、加藤 又義 5 名出席

(○副委員長)

【事務局】 クラギ文化ホール 甚野館長、小路主幹、久保主任

嬉野ふるさと会館 安保主任

文化課 松葉参事、梶間主幹

6 名出席

◎議 題

1. 令和 6 年度自主事業実績について

会議開催時点で終了していた事業(農業屋コミュニティ文化センター5 事業、嬉野ふるさと会館 2 事業、文化芸術共催事業 2 事業)について、来場者数などの実績を報告。また今後の予定事業についても説明。

主な議論・意見内容

・8 月 29 日のワンコインコンサートについて、台風の影響の大雨で帰りは道路の冠水など大変であった。こういう場合の開催する、しないの基準はあるのか。

→(事務局)暴風警報や地震では基準を設けているが、大雨では設けていない。

今後どうしていくかは考えていきたい。

2. 令和 7 年度自主事業候補について

来年度はクラギ文化ホールがリニューアルオープンし、以前のように稼働する。

事業は、例年開催している「関孝弘ピアノリサイタル」「中部フィルハーモニー交響楽団」や「ワンコインコンサート」とともに、子ども向けの劇などをやっていきたい。

嬉野では「嬉野寄席」を行い、嬉野といえばお笑い、という形で定着させたい。

このほか、NHK の公開放送や宝くじ文化公演に応募しており、採択されたら実施したいことを説明。

主な議論・意見内容

・今年の中部フィルハーモニー交響楽団演奏会は、ジブリアニメの曲ということで、子どもが喜ぶので行きたいと思ったが、3 歳未満は入場不可というのが残念であった。

→(事務局)この企画は中部フィル側が設定するものであるが、今後、アニメなどの音楽は低年齢の子どもでも観覧できるようにしてほしいと要望を伝える。

・関孝弘さんのように、地元ゆかりの人に来てもらうのは良いことだが、回を重ねてもより多く

の人に聴いてもらえるような取り組みが必要。

3. 令和 7 年度自主事業案について

クラギ文化ホールがリニューアルオープンし使えるようになるので、各ホールに見合った事業をしていきたい。

「関孝弘ピアノリサイタル」「中部フィルハーモニー交響楽団」「ワンコインコンサート」といった恒例の事業を始め、音楽、演芸、劇など大人向け、子ども向けを取り混ぜて、質の高い事業を幅広くやりたい。

NHK の事業や宝くじ公演なども活用したい。

松阪ダンスフェスティバルについて、6 年度はクラギ文化ホールが休館で大々的には行えないが、7 年度は松阪市合併 20 周年でもあり、その記念事業に位置付けられるくらいの規模でやっていきたい。

また、コロナ禍で休止していた、松阪の第九を実施する予定である。

主な議論・意見内容

- ・他の会館で「避難訓練コンサート」というのをやっていた。松阪でも取り入れてはどうか？
- ・ワンコインコンサート、あまり人が入っていないように見受けられるが？空席が多いと演者の方にも申し訳ないと思う。

→(事務局) このコンサートは新進気鋭のアーティストが多いので、発表の場が増えること自体はアーティストにとってもプラスであると考えているが、人気が無いと思わせてしまっては申し訳ないので、多くの方に来てほしい。

- ・質の高いイベントとは具体的にどういうものか？

→(事務局) やはり知名度や人気があるアーティスト等は、行ってみたいと考える人が多いと思う。同時に、あまり知られていなくても、各分野でレベルの高いアーティストを招き、見て、新たに知ってもらうという取り組みもしていきたい。

- ・松阪は以前から文化への関心が高まらないような地域性があると感じている。

→(事務局) 地域の高校と一緒に出演して、少しでも地域の人に親しみを持ってもらいたいとか、イベントのやり方も工夫してどうすれば関心を持ってもらえるか、を模索しつづけないといけない。

- ・誰でも知っている音楽やアーティストなら、人を誘って一緒に行こうか、となるが、知らないものには関心が薄く、人も集まらないのではないか。

→(事務局) アーティストによっては、難しい内容ばかりでなく、誰もが知っている曲も取り混ぜて演奏してくれる方もいる。著名な人のイベントはもちろん、知名度が低くても良いものを知らせていくのも行政のつとめであり、バランスを考えてやっていきたい。

その他

- ・6 年度第 3 回運営委員会の開催日程を決定する。